

## 代理和音とは？

代理和音は、ある和音の特徴的な部分或いはその全てを含む和音のことで、（機能的に）元の進行の代わりに使うことができます！

これを用いることにより、コード進行のバリエーションが一気に増えます！！

ドミナントについては[こちら](#)を。

## トニック、サブドミナントの代理和音

### 音階和音（ダイアトニック・コード）

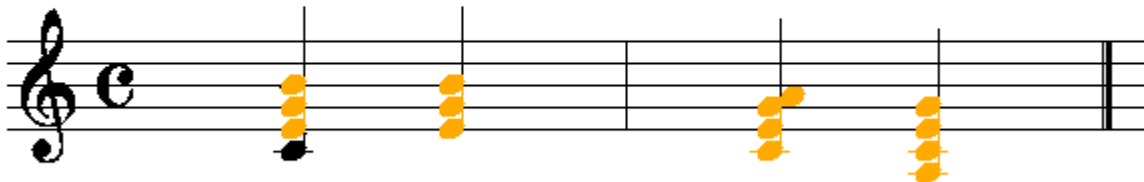
音階上にできる和音の中で、主和音の代理となる和音についてです！

#### 1. 副和音

・・・実は、音階和音の副和音も代理和音の一種です。  
つまり、主和音の代理として使われていたという訳です（汗）

#### トニック

CM7      Em                      C6      Am7

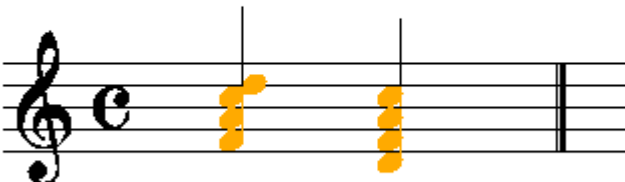


まずAm(=VIIm)からですが、譜面の通りC6とAm7は全く同じ構成なので同じ響きがするのは明らかですね ^  
（このことから、VIIm7とI6は互いに転回形であるとも言えます）

次にEm(=IIIIm)ですが、これは少々難しく(?)  
CM7の中にEmが入っているので似た響きがすると予想がつきます。  
（実際には、CM7と合わせるにはEm7のほうにb13thテンションを使うことで完全一致します）

#### サブドミナント

F6      Dm7



トニックのVIImと同様にF6とするとDm7(=IIIm7)が転回形になるので同じ機能を持っていると言えますね ^

## 非音階和音（ノン・ダイアトニックコード）

音階上にはないものの、響きが似ていて代理として使える和音についてです！  
音階にはない音なので、多用すると調性がなくなります。

1. 準固有和音（借用和音）  
聞き慣れない名前ですが、要するに短調の和音を借りて代わりに長調で使うことのできる和音のことです。
2. その他の和音  
同じ音で構成される和音も見てください！